

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年11月15日(2018.11.15)

【公開番号】特開2017-64195(P2017-64195A)

【公開日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2015-195184(P2015-195184)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月30日(2018.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の当選条件が成立した場合に、通常遊技状態よりも遊技価値が付与される入賞条件が成立し易い特別遊技状態が発生する遊技機であって、当該特別遊技状態が複数回のラウンドを組み合わせて構成された遊技機において、

特定領域を含む複数の領域に遊技球を振り分け可能であって、前記複数回のラウンドの少なくとも一部において前記特定領域に遊技球が進入可能な進入可能状態を発生可能な振分機構と、

前記振分機構より上流側に設けられ、遊技球を前記振分機構側へ進行させるか否かを切替可能な切替機構と、

前記振分機構と前記切替機構の動作制御を含む制御をして前記特別遊技状態を発生させる動作制御手段と、

前記特定領域に遊技球が進入した場合には、前記特定領域に遊技球が進入しない場合より有利な特定遊技状態を発生させる遊技状態制御手段とを備え、

前記特別遊技状態として、第1特別遊技状態と、該第1特別遊技状態と比べて前記特定領域に遊技球が進入する確率が高い第2特別遊技状態とが設けられ、

前記第1特別遊技状態が発生した場合において前記特定領域への遊技球の進入を抑制する進入抑制手段が設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1記載の遊技機において、

前記動作制御手段は、前記第2特別遊技状態の一部として、少なくとも2以上に設定された所定数の遊技球が前記振分機構より前記特定領域が設けられる側へ進行可能な進行可能期間を発生させるものであり、

前記進入抑制手段は、前記進行可能期間において前記振分機構より前記特定領域側へ前記所定数以上の遊技球が進行した場合に前記特定領域へ遊技球を進入させることを特徴とする遊技機。